

# 天のかけ橋

平成27年2月 天草地域特別支援連携協議会

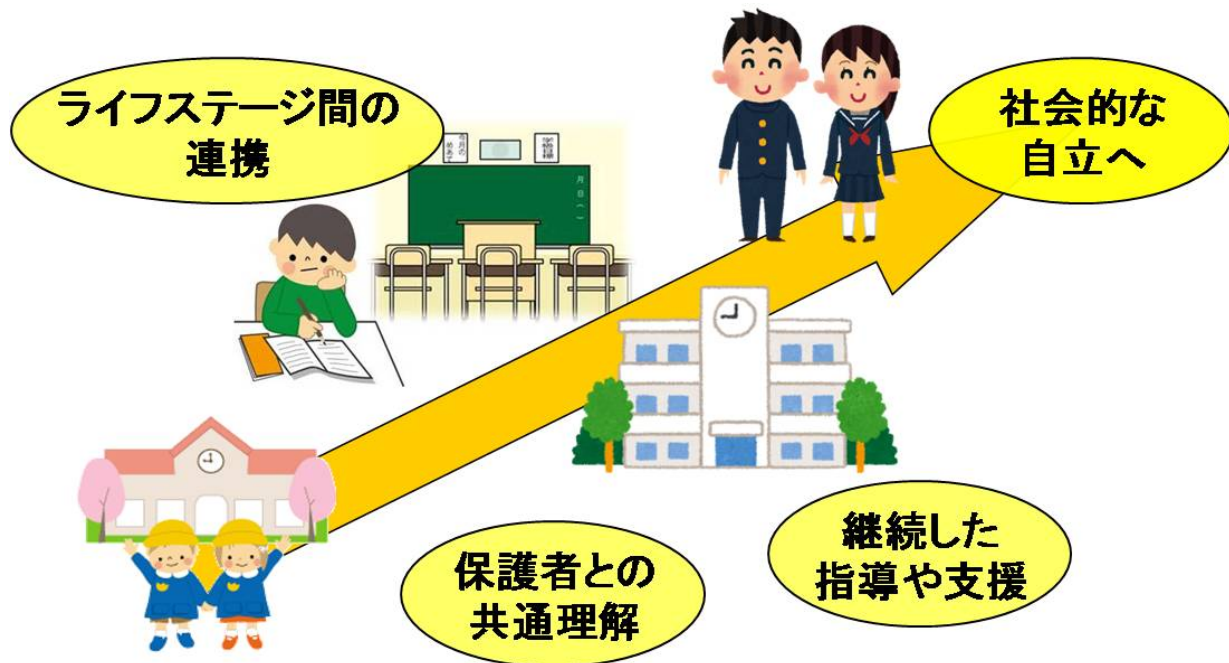
この協議会は、天草地域における特別支援教育を推進するため、教育・医療・保健・福祉・労働などの関係機関が連携し、地域における支援体制を作り上げるとともに、専門性の向上と関係者への理解・啓発を図る組織です。表題「天のかけ橋」は、子どもと支援者の心と心、子どもたちを支援する人たちの心と心がつながっていくことを、天草の島々を結ぶ橋になぞらえたものです。

## 「継続した支援」を行うために、ライフステージ間で丁寧な引継ぎを行いましょ

特別な教育的支援を必要としている子どもたちに対しては、個々の子どもに合った指導や支援の内容を学校間等で共有し、継続した指導や支援を行うことが必要です。「学校が変わったら、今までのような支援をしてもらえなくなった。」「担任の先生が代わったり進学したりするたびに同じ説明をしなければならない。」といったことがないようにしましょう。

特別な教育的支援を必要とする子どもたちが新しい学校に進むとき、進級するときなど、子どもたちのライフステージが変化する際に、その子どもに関する情報や具体的な支援方法等を引き継いでいけば、子どもは今まで身につけてきた力を生かすことができ、これから必要となる力を身につけていくこともできます。

大切なのは、引継ぎを確実にやり、切れ目のない支援を丁寧にする事です。



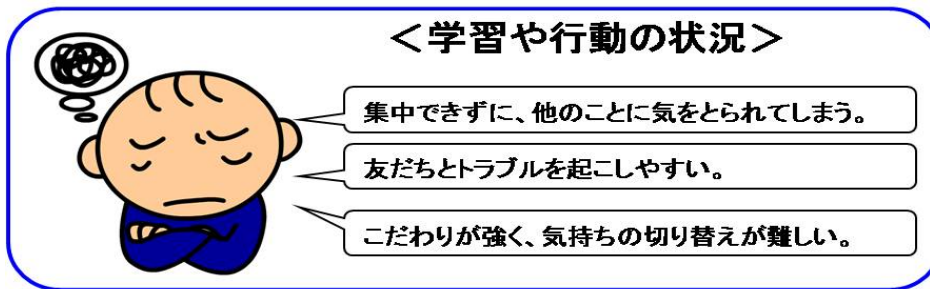
丁寧な引継ぎを行うために、「個別の教育支援計画」や

「個別の指導計画」などを活用しましょう

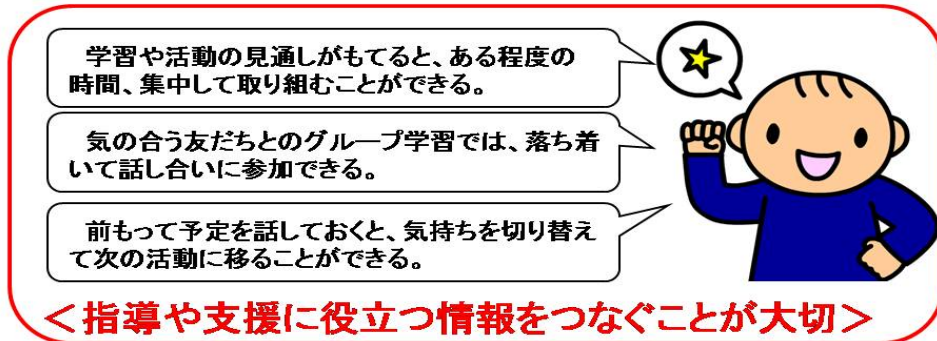
子どもたちが学校や園などで安心して学べる環境を整えるためには、一人一人の子どもに合わせた指導や支援を適切に行うとともに、進学などで環境が変わっても指導や支援を継続させる必要があります。継続した指導や支援を行うために、個別の教育支援計画や個別の指導計画などの資料の作成や、生活や学習の記録、教材・教具などの活用をしましょう。

## 「できること」をつなぐために

継続した指導や支援を行うためには、子どもの学習や行動の状況だけでなく、「～すれば、～ができる。」という、子どもの指導や支援に役立つ情報をライフステージ間でつなぐことが大切です。



だけではなく・・・



### 送り出す側は・・・

- 「～すれば、～ができる。」といった、具体的な支援と子どものできることを意識して伝えます。
- 受け入れる側が指導や支援の参考として活用できる情報を伝えることが、子どもの継続した指導や支援につながります。

### 受け入れる側は・・・

- 子どもの問題点ばかりをクローズアップせず、どうすればできるようになるのかという視点で情報を受け取ります。
- 受け取った情報をもとに、支援体制の中で何ができるのか、実際の指導や支援に生かすことを検討します。
- 子どもの状況を、送り出した側へ伝えることが、連携を継続させることとなります。

### 特別支援教育について、くわしい情報を知りたいときは・・・

- ・ 文部科学省 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/main.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm)
- ・ 国立特別支援教育総合研究所 <http://www.nise.go.jp/>
- ・ インクルーシブ教育システム構築支援データベース <http://inclusive.nise.go.jp/>
- ・ 熊本県教育委員会 <http://kyouiku.higo.ed.jp/page2016/>

### 子どもの発達や障がいについて相談したいときは・・・

- ・ 熊本県南部発達障がい者支援センター“わるつ” Tel 0965-62-8839 <http://www.hikawagakuen.com/waroots/>
- ・ 天草地域療育センター Tel 0969-23-7049
- ・ 第2はまゆう療育園 Tel 0969-22-6864
- ・ 天草学園 Tel 0969-22-3873
- ・ ピースバイピース Tel 0969-22-6507
- ・ 熊本県立天草支援学校 Tel 0969-23-0141 <http://www.higo.ed.jp/sh/amakusa-s/>
- ・ 熊本県立苓北支援学校 Tel 0969-35-1780 <http://www.higo.ed.jp/sh/reihoku-s/>

このリーフレットは、天草支援学校と苓北支援学校のホームページにも掲載されています。  
このリーフレットのコピーは自由です。広く御活用ください。